

第4問

織田幹雄さんは、「〇〇人になるべし」という言葉を私たちに残してくれました。〇〇人とは、どんな人のことでしょうか。

- ①国際人
- ②地球人
- ③世界人

【答え】

- ③世界人

【解説】

織田幹雄さんは、私たちに「世界人になるべし」という言葉を残してくれました。織田幹雄さんには、日本人、アメリカ人などと、それぞれの国という枠で人を区別するという考えはなかったのです。

織田幹雄さんは、世界各地での大会やオリンピックに出場するときは、もちろん日本代表として出場しましたが、織田幹雄さんの中では、「世界で勝負する一人の選手」として出場していました。

その後、コーチや監督になって、日本人選手の指導をしてきましたが、日本人選手だけを育てるのではなく、同じ陸上をする者に、国は関係ないという考えから、指導者として、世界40か国以上で指導されました。

これは、陸上選手だけに限ったことではありません。誰でも、「人との関係を大切にし、国という枠組みをこえた世界人になってほしい」という思いを込めて、私たちに「世界人となるべし」という言葉をのこしてくれました。

【自分の考え】

わたしは、織田幹雄さんが言われたように、友達同士もちろん、人との関係を大切に生活していきたいと思います。そして、織田幹雄さんのように、国の枠をこえて、だれとでも仲良くできる世界人になりたいと思っています。

